

全国学力・学習状況調査 本県の結果と今後の対策

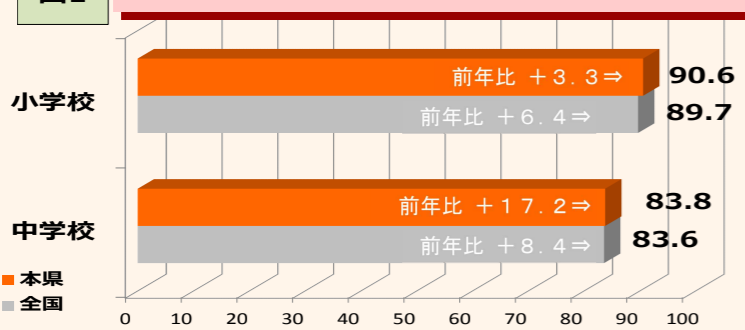
授業づくりの状況と対策（学校質問紙調査）

下の図1～3から分かる学校の授業づくりの状況から、**思考力、判断力、表現力の育成に向けた対策**として、次の①、②がこれまで以上に必要となります。

- ① 各教科等で身に付けたことを、様々な課題解決に生かすことができるような機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に一層取り組む。（図1）
- ② 国語や算数・数学において、日常の授業の中で、基礎・基本の定着を図った上で、児童生徒の実態を考慮して発展的な学習を取り入れる。（図3）

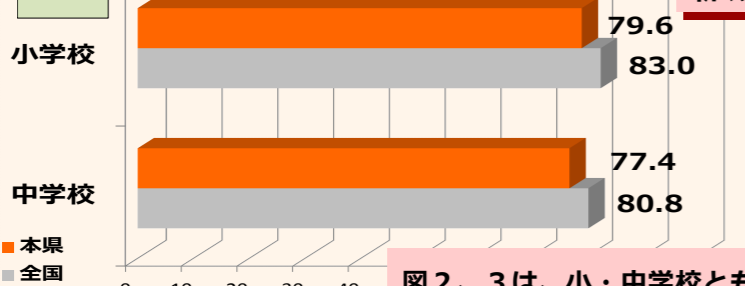
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた（%）

図1 図1は、小・中学校とも全国平均を上回っています。



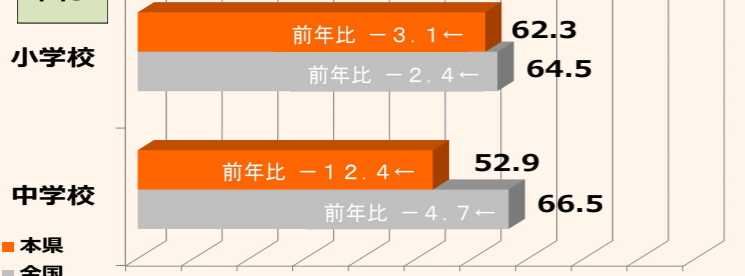
授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができてきている（%）

図2 図2、3は、小・中学校とも全国平均を下回っています。



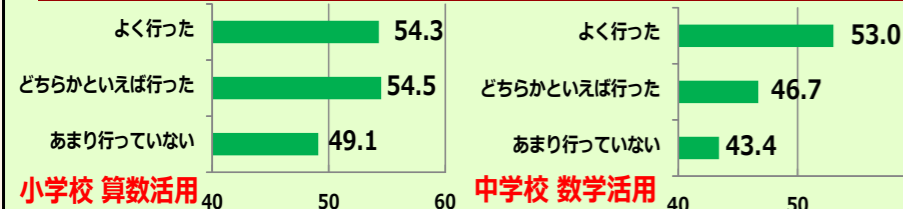
算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行った（%）

図3



参考：質問「算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行った」への学校の回答と平均正答率（青森県）%

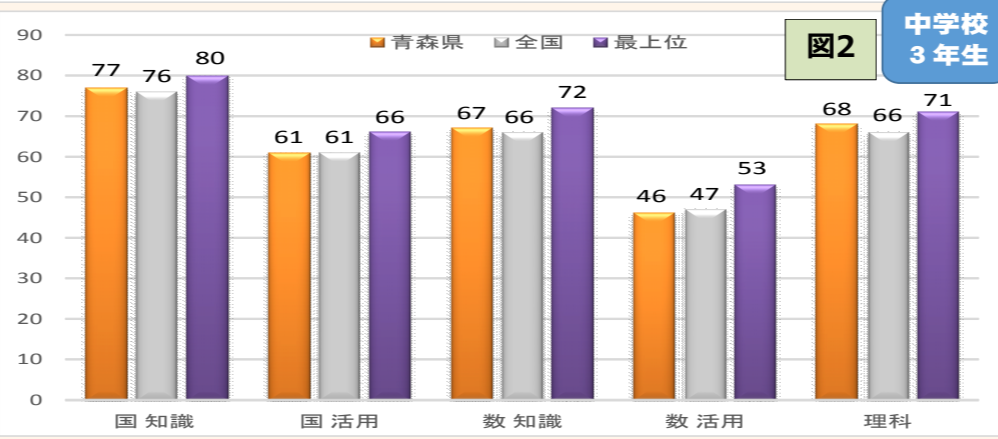
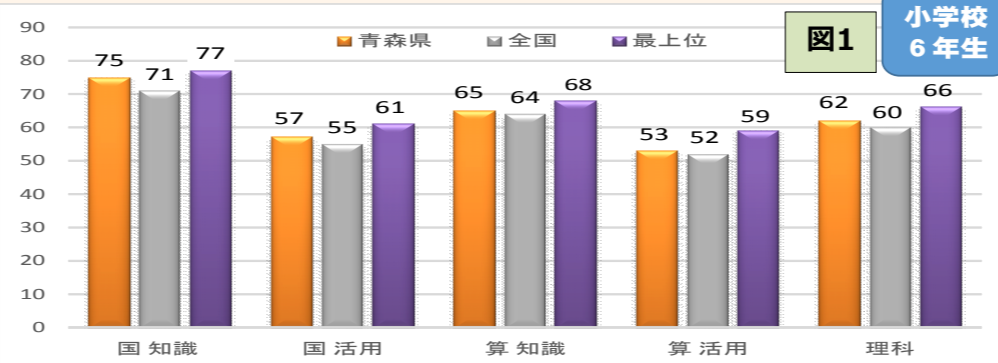
小・中学校ともに、「発展的な指導を行った・どちらかといえば行った」学校の平均正答率は「発展的な指導をあまり行っていない」学校よりも高い結果となりました。（下図）



学力の状況と対策（教科に関する調査）

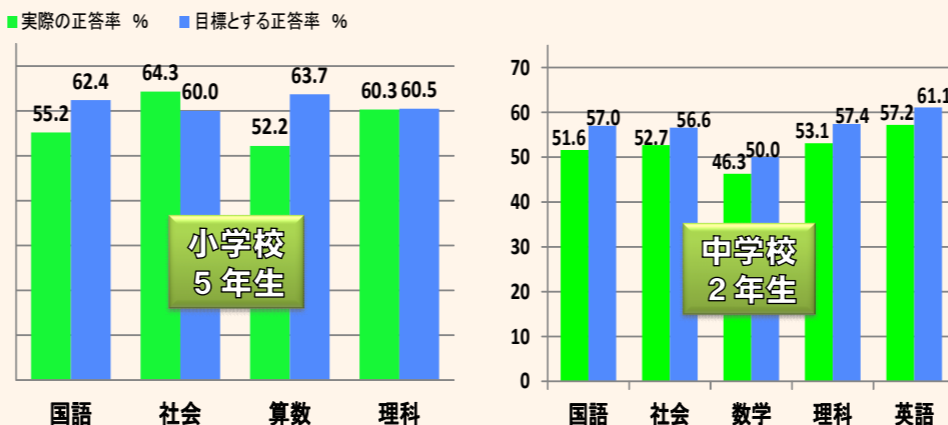
本県の平均正答率を全国や最上位県と比較すると、次の①、②が分かります。

- ① 小学校は、**全ての教科**で平均正答率が全国平均を上回っており、**国語及び算数知識**において、本県と最上位県の差はわずかである。（図1）
- ② 中学校は、**国語知識・活用、数学知識及び理科**において、平均正答率が全国平均を上回るか同程度である一方で、**数学活用**は全国平均をやや下回り、**活用**する力に課題がある。（図2）



学力の状況（H29県学習状況調査から）

小・中学校ともに、目標とされた正答率に届かなかった教科が複数見られました。そのため、どの教科においても自校の分析を踏まえた早期の対応を引き続き求めておりました。（下図）

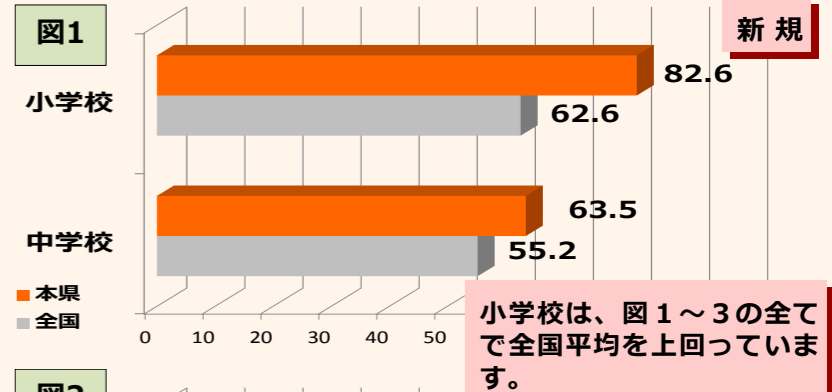


家庭学習の状況と対策（児童生徒質問紙調査）

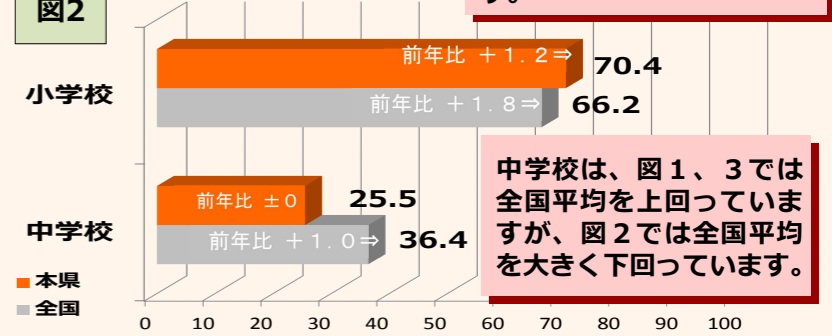
下の図1～3から分かる児童生徒の家庭学習の状況から、**家庭学習の充実にに向けた対策**として、次の①、②が引き続き必要となります。

- ① 家庭学習の時間を確保できるように、児童生徒が家庭学習の方法を話し合ったりするなどして、見通しをもって家庭学習に取り組めるよう指導する。（図2）
- ② 家庭学習を計画的に行えるよう、児童生徒個々が習熟の状況に応じた家庭学習に取り組めるよう指導する。（図3）

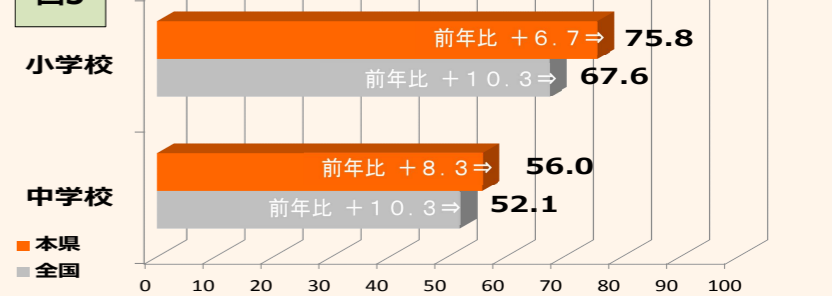
家で、学校の授業の予習・復習をする（%）



平日に小1時間、中は2時間以上学習する（%）



家で、自分で計画を立てて学習する（%）



参考：質問「家で学校の授業の予習・復習をしている」への児童生徒の回答と平均正答率（青森県）%

小・中学校ともに、「家で学校の授業の予習・復習をしている」児童・生徒の平均正答率は「あまり・全くしていない」児童生徒よりも高い結果となりました。（下図）

